

2017年度 ATP (アートを/で考えるプロジェクト) プロジェクト 活動報告書

教員：小林昌廣 (代表) 安藤泰彦
学生 (研究生)：塚原真梨佳
学生 (2年)：大和比呂志
学生 (1年)：岸本正高 箕浦慧 小寺諒 (棚原 みずき)

プロジェクト内でのゼミを中心とする活動、および以下の企画・運営を行う。

1 「Over the IAMAS」展の開催 一作品展示協力

【概要】

2016年度卒業生 (山本美里、田中翔吾、高見安紗美) による作品展示への協力

【展覧会会期】

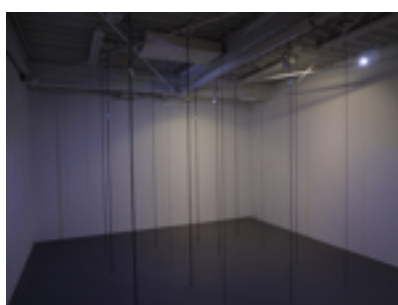
2017年5月9日(火)～5月14日(日)

【開催会場】

ギャラリー16 (京都)



山本美里 作品展示風景



高見安紗美 作品展示風景



展覧会案内状

2 ゲスト・レクチャー

① 「インド古典音楽の演奏とレクチャー」

サントゥール+タブラによる演奏鑑賞と共に、インド古典音楽の基本的な考え方、演奏法について解説。

講師：安藤真也 (サントゥール)、原口順 (タブラ)

日時：7月18日 18時30分～20時

場所：センタービル3階 応接室 (和室)



② 「肉体の黎明・舞踏の薄明」

70年代の後半より渡米し長らく米国で舞踏の活動をしているお二人に、舞踏表現の黎明期と現状について話を伺う。

講師：玉野黄市・弘子夫妻 (舞踏家)

日時：2017年10月24日 (火) 18時～20時

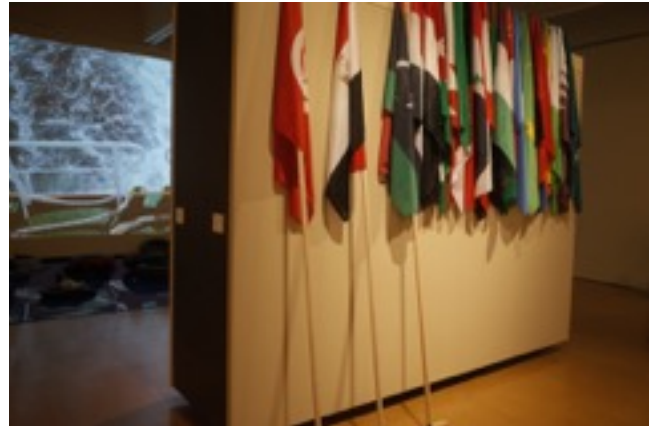
場所：センタービル3階応接室 (C202 和室)



③ 「ディアスポラ・ナウ！ 展覧会企画について」

岐阜県美術館開催の「ディアスポラ・ナウ！～故郷（ワタン）をめぐる現代美術」展について、作品介绍ならびに展覧会開催に向けてのリサーチ、企画コンセプトなどについて話を聞く。

講師：西山恒彦（岐阜県美術館、学芸員）
日時：2017年12月12日（火）18時～20時
場所：センタービル3階応接室（C202 和室）



「ディアスポラ・ナウ！～故郷（ワタン）をめぐる現代美術」
展示風景

3 文献購読・映画鑑賞・展覧会鑑賞

文献購読：

「脱植民地化された（ポスト・コロニアルな）身体」（Art ASIA Pacific Vol.7, No.1, 1996）
室井尚

「『帝国の慰安婦』とポストコロニアリズム」上野千鶴子

『対話のために「帝国の慰安婦」という問いをひらく』クレイン（2017/5/11）

「戦時性暴力とミソジニー」西成彦

『対話のために「帝国の慰安婦」という問いをひらく』クレイン（2017/5/11）

「ポストコロニアリズム（岩波新書）」本橋哲也

「ポストコロニアリズム（知の攻略 思想読本）」姜尚中

「まんが パレスチナ問題（講談社現代新書）」山井教雄

「続 まんが パレスチナ問題 『アラブの春』と『イスラム国』（講談社現代新書）」山井教雄

「マッドジャーマンズ ドイツ移民物語」ビルギット・ヴァイエ

映像鑑賞：

「壊された5つのカメラ—パレスチナ・ビリンの叫び」

イマード・ブルナート、ガイ・ダビディ、2012年9月22日 公開(日本)

「原爆の子」新藤兼人、1952年8月6日公開

「ひろしま」関川秀雄、1953年10月7日公開

「ヒロシマナガサキ」スティーヴン・オカザキ、2007年7月公開（日本）

「羅生門」黒澤明、1950年8月26日公開

「雨月物語」溝口健二、1953年3月26日公開

展覧会鑑賞：

「ディアスポラ・ナウ！～故郷（ワタン）をめぐる現代美術」展 鑑賞

